



http://www.tess.co.jp  
所在地：  
〒186-0002  
東京都国立市東1-4-15

## 概要

鉄道車両に関わる試験および測定、軌道構造物に関わる試験解析、環境測定(騒音・振動・低周波音)、構造物健全度診断、材料試験・一般計測、実験装置・模型の製作などのエンジニアリング業務を事業の中核とし、大型試験装置の運転保守、鉄道会社等のアンケート調査・統計処理などの各種サービス業務も手がける。技術本部 調査統計部では、鉄道関係の研究成果をもとに、安全対策のための教材やマニュアルを、冊子、CG、動画などのかたちで制作・販売。代表的な商品に、『ヒューマンエラー体感ソフト (SimError エラー教育編)』、『鉄道総研式 事故の聞き取り調査手法マニュアル (DVD付き)』、『指差喚呼効果体感ソフト (SimError 指差喚呼編)』などがある。

## 事業内容

・ 鉄道技術のトータルエンジニアリングサービス

## 課題

- ・ デザインの自社内制作体制の強化
- ・ 入稿関連業務の簡略化
- ・ デザイン品質の向上

## ソリューション

### Creative Cloud グループ版

#### デスクトップアプリ

- ・ Adobe Photoshop CC
  - ・ Adobe Illustrator CC
  - ・ Adobe Indesign CC
- サービス
- ・ Typekit

# 株式会社テス

## Creative Cloudの豊富な機能を活用し、複数メディアに対応したデザインワークを内製化

鉄道車両に関わる試験や測定、軌道構造物に関わる試験解析、環境測定(騒音・振動・低周波音)、構造物健全度診断などを主力事業とする株式会社テス。そのグラフィックデザインチームでは、幅広い業種に向けて安全対策のための教材やマニュアルを制作・販売する業務にCreative Cloudを活用。紙、映像メディア、WEBと多岐にわたるデザインの内製化と業務効率化を実現している。



## 導入メリット

### デザイン内製化の幅を広げた



Mac・Windowsともに使えるTypekitライブラリ活用でどのアプリでも使え、ストレスフリーの制作環境に。

### 管理業務の効率化



Mac・Windows両方で利用可能なためコスト削減。ライセンス管理の合理化やアプリのインストール速度向上で業務効率が高まった。

### 3Dグラフィックに対応



プレビューやPDFに書き出せる機能により、3Dデータが扱いやすくなった。

### デザインのチェックが容易に



プリフライトチェックで、入稿前のデータ確認が万全になった。

## ■鉄道会社を中心にトータルエンジニアリングサービスを提供

株式会社テスは、鉄道の研究開発に関わる受注実績から得られた豊富な専門知識と経験をもとに、鉄道車両に関わる試験や測定、軌道構造物に関わる試験解析、環境測定(騒音・振動・低周波音)、構造物健全度診断などのエンジニアリングサービスを提供する企業だ。

同社技術本部 調査統計部のグラフィックデザインチームでは、鉄道関係の研究成果をもとに、安全対策のための教材やマニュアルを、冊子、CG、動画などのかたちで制作・販売している。「そうした発行物は鉄道会社だけではなく、建設、化学、土木など多業種の安全教育プログラムとしてもご活用いただいています」と、技術本部 調査統計部 部長の田中 尚氏。近年は特にヒューマンエラー防止に関する教材の需要が高まっているという。

## ■あらゆるメディアコンテンツのデザインワークに活用

長年Creative Suiteを愛用してきたグラフィックデザインチームでは、デザイン業務には主にMacを利用するが、取引先から提供されるデータの多くはWindowsで作成されることから、両OS用のパッケージ製品を揃えていた。「Creative Cloudグループ版はWindowsでもMacでも両方使えるのでお得感があり、クラウドならではの管理のしやすさも魅力だったことから導入を決定しました」と語るのは、技術本部 調査統計部 グラフィックデザインチームの五井 富美江氏。報告書や冊子などの作成から紙の出版物、映像メディア、WEBまで同社が手掛けるデザインワークは広範で、それだけに活用するCreative Cloudの機能も多岐に渡るという。



技術本部 調査統計部 部長  
田中 尚氏



技術本部 調査統計部  
グラフィックデザインチーム  
五井 富美江氏

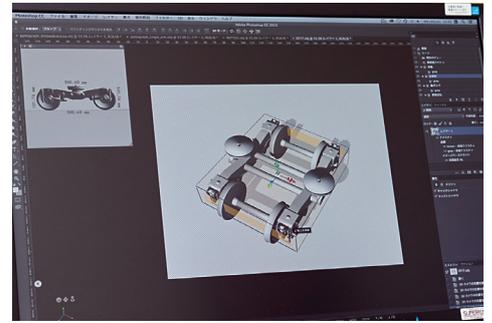


グラフィックデザインチームでは、幅広い業種に向けて安全対策のための教材やマニュアルを制作・販売する業務に Creative Cloud を活用している。

## ■クリエイティブワークの引き出しを増やし生産性も向上

五井氏がCreative Cloudを使って実感しているのは、あらゆる作業の効率性がアップしたことである。「Typekitのライブラリサービスも充実していて、MacでもWindowsでも、どちらのOSでも気にせず使いたいフォントを参照して同期すれば、どのアプリでもすぐ使えるのも非常に便利です。以前はプラットフォームによる違いで、フォントのトラブルも多かったのですが、今はストレスなく使えています。」こうしたCreative Cloudの環境は、「Creative Cloud導入前と比較して50%ほど作業効率があがり、デザインの幅も拡大してくれた」と五井氏。

また、お試しキャンペーンでのAdobe Stockの感想を尋ねると、「制作物には写真やイラストを添えることが多いのですが、PhotoshopやIllustrator、InDesignなどのデスクトップアプリから直接Adobe Stockにアクセスして豊富なフリー素材を利用できるのは、作業の効率面でも非常に有効ですね。今後はプレゼン資料や個性的なグラフなどに適した素材などがあれば、ぜひ活用したいサービスです。」(五井氏)



3Dソフトで作成された3DデータはPhotoshop CCで開くことができる。360度プレビューを動かしたり、PDFに書き出ししたりすることも可能だ。

## ■印刷入稿間際の差し替え作業も容易にスピードアップ

紙媒体の印刷では、以前はデータをCDに記録して印刷所に渡していたため、入稿作業が1日がかかりだったという。「Creative Cloudを導入してからはワークフローを見直し、PDF入稿に変更しました。印刷会社の指定する場所にアップするだけなので、あっという間に完了します。InDesignには詳細なプリフライト機能があり、間違いを事前にチェックすることもできます」(五井氏)。

また、IllustratorのCCから追加された機能「埋め込みを解除」は画像を抜き出せ、元ファイルを編集できるのも、業務の効率化につながっているという。「入稿直前にクライアントから画像の差し替えを要求されることが少なくありませんが、旧バージョンで作られ、手元に画像がないデータの時など、リンクパネルで手軽に元の画像を解除して入手することができます」と、編集機能の向上を高く評価する。さらに、Photoshopでは3Dデータの管理も容易になった。「多くのソフトで作成された3DデータのプレビューをPhotoshopで確認できるのは本当に便利です。3DデータをPDFに書き出すことも可能なので、クライアントへの進行状況の説明などもスムーズに行えるようになりました」と五井氏は語る。

## ■ライセンス管理を含め業務効率が全体的に向上

Creative Cloudグループ版の導入効果として、田中氏は管理面での効率化も挙げる。「パッケージ版のように大量のシリアルナンバーを管理する煩わしさから解放されましたし、紙のマニュアルを保管する必要もなくなりました。Creative Cloudのデスクトップアプリケーションから利用したいアプリを選択するだけなので、インストール作業もスピードアップし、個々のアプリの機能性拡充と合わせて、作業の効率化や時間短縮に大きく貢献してくれています。」(田中氏)。Creative Cloudのすべてのアプリケーションは、デスクトップアプリケーション経由でダウンロード・インストールまで一括処理し、その後ユーザー自身が好きなアプリケーションを選択してインストールできる点を高く評価する。

## ■3Dグラフィックの内製が今後の目標

3Dグラフィックの制作ニーズが年々増えていることから、「Fuseを活用して3Dモデルやキャラクターを作成できるようにしたいと思っています」と田中氏。今後は動画編集の受注拡大や、自社のWEBの刷新にも活かす方針だという。Creative Cloudが備える機能を積極的に活用することで、同社はデザインワークのさらなる内製化と業務拡大を進めようとしている。

Adobe Creative Cloud  
グループ版に関する詳細

<http://www.adobe.com/go/cct>



アドビ システムズ 株式会社  
〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー  
[www.adobe.com/jp/](http://www.adobe.com/jp/)  
Adobe Systems Incorporated  
345 Park Avenue  
San Jose, CA 95110-2704  
USA  
[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

Adobe, the Adobe logo, Creative Cloud, Illustrator, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated, in the United States and/or other countries.

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe PDF logo, and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.  
© 2016 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.